

4/5 練習メモ

Domine Jesu の 語 ました P.43 ~

Domine Jesu Christe
主よ イエズ キリストよ

← この部分 P. 27 までが
弱くするんじゃなく
抑々しく呼ぶんだよ

Rex gloriae

← 栄光の主よ!!

← これは F. 大きく輝かしく呼ぶんだよ。

libera

Animas omnium fidelium defunctorum

「♪」の長さをどかが。母音の「ア」まで。
子音 (consonant) に「ア」を付して子音の響きで「♪」の長さを決める

de poenis inferni, et de profundo lacu

地獄の罰と
底の深淵から

libera eas de ore leonis

(発音いかりは別)

「F」と「P」のメリハリが大事!!
「F」は「P」の
語の内容のどかが F と P の
理解しようたおうね!

解き放ちたまえ libera

死んだ 信者 全の
defunctorum fidelium omnium

靈魂 (animas) を

地獄の 罰 と
inferni poenis et

底の 深淵 から
lacu profundo de

彼ら (前段の
死んだ信者の靈魂全) を

eas 解き放ちたまえ (libera)

獅子の 口から
leonis ora de

この次の Hostias まで、モーツァルトの手による作曲、とされています。

モノの本によると、モーツァルトの作曲部分は以下の通り。

I. Requiem II. Kyrie → 完全モーツァルト

III. Sequenz

(1. Dies irae 2. Tuba mirum 3. Rex tremende 4. Recordare 5. Confutatis 6. Lacrimosa)

→ 合唱と通奏低音・管弦楽の手がかりまで、モーツァルトが書いている。

(ただしラクリモーサは 8 小節目までで絶筆)

IV. Offertorium (1. Domine Jesu 2. Hostias)

→ 合唱と通奏低音・管弦楽のてがかりまで、モーツァルトが書いている。

(なお、終曲は第 1 曲目が回帰するようモーツァルトが指示を残したとも言われています。)

モーツァルトの Requiem にも「F」と「P」のメリハリが重要